

第2回 阿波おどり事業検証有識者会議 議事録

開催日時 平成30年10月31日(水) 午後4時～

開催場所 徳島市市役所13階 第2研修室

出席者 委員6名 事務局7名

1 開会

2 議題(1) 阿波おどり事業の検証について

【事務局】

資料1 阿波おどり事業の決算見込みについて説明

【福山委員】

借入返済が予算の中に入っていたが、決算見込みの額が0円になっているが、これは現実的に返済が難しいという理解でいいのか。

【事務局】

借入返済は、2,000万円ほど予算に計上していたが、現実的に今回赤字決算となっており、確保が難しいところがある。

【岡本委員】

今日の決算見込みの資料は概略で問題ないが、最終の決算はこの後に出ると考えていいのか。

【事務局】

主に歳出が確定していない。今後の会議開催経費や税の申告もあるため、金額が確定していない。何千万、何百万円も変わることはないが、最終的な額が確定していない。

【岡本委員】

ねぶた祭や山笠祭りなどは企業決算と同じように収入支出とも細かく項目が分類されているが、阿波おどりの決算も細かい支出の分類を出す予定はあるのか。

【事務局】

当初事業計画の中で予算を立てていたため、予算の分類に対して決算の額を分類している。他の祭りは細かい数字を出しているところもあるが、手数料がいくらで委託料がいくらだったという出し方がいいのか、ただ、そうすると実際何に使ったのかわかりにくいといった面もある。どういった出し方がいいのかは決算の状況に合わせて事務局で考えたい。

【岡本委員】

ある程度、収入支出も含めて項目が細かく出ないことには分析のしようがない。

【福山委員】

大分類決算書とその明細決算書の2パターンほど作っていただきたい。

【事務局】

現在は配布した資料までしか作成できていない。どのような分類をするのがわかりやすいかを伺いながら作り込んでいきたい。

【豊永委員長】

今年度の収支決算について、実際阿波おどりには徳島市の職員が従事している。従事している職員の人件費がどの程度必要なのか、民間では人件費も含めている。4月からどのくらい従事して、費用がどれだけかかっているのか。徳島新聞社の職員も従事していたと思うが、その人件費を含めて出す必要がある。岡本委員の資料にもあったように、仮に民間委託をすれば人件費も含めた費用が出てこない、決算見込みの金額で受託したが話が違くなる。実態はどこが負担しているかは別として、徳島新聞社にも問い合わせいただき、トータルでいくらかかっているかを出した方がいい。

臨時駐車場の収入は決算見込みに入っているのか。今年はどこが運営していたのか。

【事務局】

公園や学校の臨時駐車場が全部で7ヶ所あった。このうち5ヶ所を実行委員会で運営を行った。収入は広告料・協賛金等の内訳に臨時駐車場で460万円ほどになっており、支出については、800万円弱が運営費としてかかっている。この運営費は主に警備業務で外部に委託をしており、警備業務だけで500万円ほどかかっている。残りは公園の使用料や案内看板の設置費用である。

【豊永委員長】

臨時駐車場の受付はどこが行ったのか。

【事務局】

駐車券を発行して、警備が1,200円を徴収していた。

【豊永委員長】

残り2ヶ所の臨時駐車場は学校のPTA等が運営していたのか。

【事務局】

臨時駐車場は地元のPTAや体育協会が運営しており、人をそこが出し料金徴収も直接行っている。

【福山委員】

人件費について、決算書に含めておかなければ全体が見えてこないという話だったが、従事した時間を全部報告していただき、標準単価をかけるという形でいいと思う。

【豊永委員長】

福山委員の意見のように標準単価をかける方法もあるが、実際にどれだけの費用が

かかったのか必要になるのではないか。

【事務局】

市職員の年収を日数で割り込んでいくと費用が出るかもしれないが、指定管理者制度で出すときに、管理者であればいくら、臨時職員であればいくらと単価を当てはめて基準単価を出すようにしている。業務委託に出す時においても、このように標準的な金額を出すのがいいのではないか。

【豊永委員長】

基準単価を出すため資料も必要だと思うが、市議会で指摘されたら出さないわけにはいかないと思う。赤字が出て、市の職員が従事していることはテレビにも映っている。市議会に出せて検証委員会には出せないことはないと思う。検証委員会としては人件費の資料を求める。出せないというのであれば出せない理由を説明いただきたい。指定管理者選定の際の平均的な資料は付けていただいてもいいが、実際の費用は出した方がいいと思う。個人にいくらかかったかは特定する必要はないので、検証委員会としては資料の提出を依頼する。出せないなら出せない理由や、計算を簡略化したなら、その計算方法を示すなど、実態に近い金額を出していただくようお願いする。それと合わせて指定管理の時はこれぐらいの金額になるという資料も合わせて出してください。

人件費以外にも決算見込みに含まれていない支出はあるのか。

【事務局】

演舞場や総合案内所でボランティアをお願いしている部分はある。

【豊永委員長】

ボランティアについて、資料は必要ない。

運営協議会で出た意見を吸い上げて、実行委員会に提案を行い実行委員会が決定する。この体制について質問はあるか。

【事務局】

演舞場に実行委員会の一員として出務された方や徳島新聞社の社員は無報酬でお願いをしており、その辺りの人件費は含まれていない。

【豊永委員長】

従前は観光協会の職員が当日の運営は行っていたのではないか。

【事務局】

従前のやり方と同じで阿波おどり期間の警備業務、ボランティア等を含めると、1日あたり360人～400人ぐらいの人が働いていた。この中には従前から徳島新聞社も何人か出しており、そこにはボランティアの方も何人かはいた。

【豊永委員長】

従前から徳島新聞も何人か出していたのか。

【事務局】

徳島新聞社は従前から人を出しており、去年からは徳島新聞社は無報酬でやっていた。

【豊永委員長】

無報酬であれば含めなくてもいいのか。

【竹中委員】

難しいところであるが4日間だけではなく、実際は準備期間もあるため、その部分も方が大きいかもしれない。

【豊永委員長】

従前はどうかだったのか。観光協会が実行委員会を立ち上げて段取りをしていたということか。

【事務局】

従前は観光協会と徳島新聞社の共催で運営しており、観光協会の職員が業務の発注や打ち合わせを行っていた。ただ、その人件費は阿波おどり事業の決算の支出には含まれていなかった。

【豊永委員長】

そうすると今年だけ人件費を含めるとおかしくなる。

本番の4日間に絞って、人件費を出した方がシンプルでいいかもしれない。

【福山委員】

注記でこれ以外にも人は動いていると記載が必要ではないか。

【豊永委員長】

徳島新聞社が従前からボランティアを出していたのであれば、今年だけ含めるのもおかしい。去年との対比で4日間の市職員の部分だけ含めるのがいいのではないか。

【事務局】

4日間というと、400人近い人間が動いている。今までもそうだが市職員が応援に行き、演舞場への呼び込みなどをしたことに対しては日当を支払っており、その日当については一昨年、昨年、今年も経費として支出に含まれている。決算見込みに入っていない人件費というと、4月から実行委員会事務局として働いている部分になり、それは去年の観光協会も含まれていない。

【豊永委員長】

観光協会の人件費は阿波おどり会館の指定管理の決算には含まれていたが、阿波おどり特別事業には含まれていない。阿波おどり会館の指定管理外の業務もあるため、厳密にはどれだけ阿波おどり事業に従事していたかわからない。従来から含まれていない人件費を含めるとおかしくなるが、観光協会も阿波おどり事業に従事しており、実際は費用としてかかっている。

【福山委員】

注記で載せるのはどうか。

【豊永委員長】

観光協会は公益社団法人なので決算書があるのではないか。

【事務局】

決算書は28年度まではあるが、29年度は破産になっており決算書はない。

【豊永委員長】

公益社団法人として、決算書を公益認定審議会に3年ごとに決算を報告することになっているが、その中に従事割合が出ており人件費を算出している。従事割合で阿波おどり事業に関する人件費の客観的な根拠の推計はできると思う。

【事務局】

従事割合が含まれている書類を見たことがないので確認させていただき、できる範囲で推計させていただきたい。

【豊永委員長】

従事割合で人件費が出れば一応の目安になる。どれだけの負担をしていたかを把握する必要がある。

【福山委員】

今回の決算見込みに入っていない数字になってくると思う。

【豊永委員長】

4月からの人件費についてはどうするか。28年度までの公益社団法人の決算の中で阿波おどり特別事業に関する収入支出が出ていると思うが、そこに人件費は入っていると思うが。

【事務局】

資料の28年度の数字は観光協会の決算を参考になっているが、人件費は入っていないと第三者委員会の報告書の中に記載があったと思う。

事務局が示させていただいている決算見込みは阿波おどり事業の特別会計部分を記載しており、その中に観光協会の人件費は含まれていない。

【豊永委員長】

なぜ人件費にこだわっているかという、将来的には阿波おどり事業を民間委託した方がいいと考えている。民間委託する際、予定価格を定める時にトータルどのくらい必要かという資料を揃えてあげないと金額の設定ができないのではないかと思う。今日の議論ではどうするか、先送りにするのか。

【事務局】

事務局の方で検討し、相談させていただきながら、進めさせていただきたい。

【豊永委員長】

人件費が省かれていると、トータルでどれくらい費用がかかっているかわからないため運営委託できない。そうなる徳島市が阿波おどりの運営をずっと行うのかという話になる。事務局の資料説明が終わった後に運営について議論をしたいと思う。

【事務局】

資料2 2019年度の阿波おどり開催に向けて説明

資料3 阿波おどり実行員会等の議論について説明

資料4 他の祭りの開催状況について説明

【豊永委員長】

至急に決めなければならないという事項で、市役所前演舞場の設営の有無、阿波おどり振興協会（以下「振興協会」と言う。）の総踊りをするかどうかがある。

運営体制にも関わってくるため、まずは、市役所前演舞場の設営の有無について、14日以降の特に第2部の落ち込みがひどい。市役所前演舞場の栈敷を別の場所に転用できるのか。

【事務局】

栈敷を設営するためには、栈敷を組む場所と踊り手の待機場所を確保する必要がある。栈敷自体は別の場所に移転できるかもしれないが、交通規制区域の中に栈敷を設営し、その中に踊る空間をつくるのは難しいと考えている。

【豊永委員長】

市役所前と同じ広さを持った道路は近くにないのか。

【事務局】

現状では難しいと考えられる。

【豊永委員長】

栈敷は徳島市が購入しているのか。

【事務局】

栈敷は徳島市の所有になっている。

【豊永委員長】

利用しなければ、丸々無駄になる。

【福山委員】

市役所前演舞場を設営しなければ、栈敷の設営、撤収にかかるコストも同時になくなる。

【豊永委員長】

チケット収入が丸々無くなる。

【事務局】

14日は17.7%、15日は11.6%とかなり低い稼働率になっているが、一方で昨年になるが12日、13日また14日の1部はほぼ100%、9割以上入っているという状況である。また、2部についても12日、13日は9割を超えるような稼働率になっているので、もし仮に市役所前演舞場が無くなったとすると、こうしたお客様がどこで踊りを見るのか、その確保も課題にはなってくると思う。

【竹中委員】

市役所前を設営しないのは無理だと思う。

【豊永委員長】

将来的にどうするかは別として、むしろ座敷の活用や客席を埋めるための努力をした方が現実的ではないのか。

【岡本委員】

座席の供給数が一気に減るのはさすがにまずいのではないか。

【豊永委員長】

市役所前演舞場の席数はどれくらいあるのか。

【事務局】

2,790席ある。

【豊永委員長】

29年度の12日はほぼ100%近く2回転していることになる。今年は落ち込みがあったが、それでも一部が100%、二部が44%なので、4,000近くの席が無くなっていいのかということになる。今日の会議では市役所前は設営し、2部の落ち込みをどう防ぐのかを考えていただくという方向でよいか。

【竹中委員】

有識者会議で細かいシュミレーションはできないが、いろいろな方法の組合せができるのではないかと思う。

【豊永委員長】

有識者会議では市役所演舞場を来年も設置し、チケット販売方法等を工夫するように実行委員会に提言することでもいいか。

【竹中委員】

具体的な方向を示さなくてもよいか。

【豊永委員長】

最終的に報告書にどのように記載するかによると思う。市役所前は座敷を設置はする方向でいいか。

【清水委員】

実行委員会では市役所前の座敷を設営しないという話もあるようだが、基本的に踊り子側からすると、踊る場所が無くなると困ると思う。

演舞場に長い間、客が入っていない状態である。例えば、2部制を1部制にする、料金を下げるなどの手だてを考えることで、客を誘致させる方向で実行委員会に提案し考えていただくのがいいと思うが。

【豊永委員長】

具体的な方法まで提案するのか。

【清水委員】

踊り子側からすると、こういうことをしてくれたらいいのではないかという事はあ

る。

【豊永委員長】

踊る側の要望や見る側の要望でアイデアがあれば次回までに具体的な意見を出していただき、その方向について、より具体的に検討を行っていくということでどうか。

来年の運営体制について、踊り手側はかなり金額を支払っているのは、県内の阿波踊りぐらいで、他の祭りは参加費を取っているのが一般的である。阿波おどりの座敷席は大体12,000席ほどあり、ねぶた祭りの席数が近い。高円寺の阿波おどりでは、参加者から1連5万円、個人参加費は500円を取っており、踊り手に出演料を払っているというのは、全国の有名な祭りからみても異例である。

【清水委員】

これだけの累積赤字を残しており、市民の中には赤字に対して税金を投入することに疑問を感じている人もたくさんいる。出演料を支払うのではなく、市民にも理解していただくために、4日間のうち有料演舞場を踊る連については、当然企業連も入るが、赤字が解消するまでを目途に常識のある範囲で協力金をお願いするのはどうか。

【岡本委員】

踊り手に対して出演料を支払っていた事実を知っている県民市民はすごく少ないと思う。

過去については興行であったが、今後、阿波おどりを興行として残していくのか、それとも伝統文化として地域の必要な観光資源として残していくのかのどちらかだと思う。徳島をはじめ地方は、人口が減少し経済も縮小していき、企業事業所数も減り、税収も落ち込んでいく。そういった中で興行的な要素を全面に出して阿波おどりをやっていくのは無理があると思う。やはり、地域の貴重な伝統文化として残していくには、踊り手側の金額の大小は別として、出演料を貰うのではなく、祭りのために、身銭切って頑張ろうという姿勢は絶対必要だと思う。市民の中には阿波おどりが嫌いな方も多くいる。騒音問題も含め、我慢して協力している市民の方の税金から拠出している。踊り手も好きで踊っており、いかに徳島のために踊っているというプライドを満たしつつ、祭りに参加してもらうのか。

ただし、前夜祭や選抜阿波おどりにについては興行的な要素が強いため、出演料は仕方ないと思う部分もあるが、祭り文化で維持するため、基本的に参加費を出し合って、みんなで支えて行くのが一番いいと思う。

【木村委員】

全く同感である。盆踊りは地域が発祥であり、どこかの地方の祭りでも自分たちで頑張ろうとしている。そこにある企業は寄付を行うし、軒先での寄付も行っていると思う。それがどこかで違った構造になり、何の見直しもされずに脈々と続いてきて、今回の事でフタを開けたら赤字になっていた。原点に戻って徳島の阿波おどりを地域の人みんなで協力して盛り上げていくべきだと思うし、レベルの高い有名連の技能も上が

ってきており、県外のお祭りに呼ばれたり、海外公演も行っている。どんどん宣伝してきてもらったらいいと思う。そういったお金を運営費にさせていただく、ただ地元でやる阿波おどりはみんなで盛り上げて、踊るのであれば参加費は出すべきだと思う。

【福山委員】

現状を急に変えることになるので、難しい問題かなと思う。阿波おどりを継続していかなければならない、継続していくために姿を変えなければいけない時期がきている。これを機に阿波おどりを続けていけるようにするというのであれば、非常に前向きな意見だと思う。

【竹中委員】

興行の部分と観光資源の部分は、分けて考えていくべき時期にきていると思う。前夜祭や選抜阿波おどりはお金を取って良いものを見せる。一方で観光資源、興行でない部分は、いかに自分たちが参加していけるかという方向にもっていく。観光客と一緒に参加していける方向にしていくことが必要だと思う。出演料を支払うのを今全てやめしまうと軋轢が起こると思う。どうしたら良いかはあるが、栈敷のチケット料金にも関わってくると思いますが、阿波おどりを見に来たのに、有名連が見れないことになると見る人が嫌になるだろうし、この辺りの兼ね合いもあり、自分自身すぐには結論を持ってないが、出演料を支払うところは支払い、貰うところはもらうというのもありかと思う。

【清水委員】

高円寺阿波おどりの参加連については、当初の参加費2万円が今は5万円までに上がっている。参加費以外に保険という名目で1人500円、例えば連員50人いると、参加費の5万円と500円×50人=2万5千円の計7万5千円が1日あたり必要になる。高円寺の場合は許容量もあるため、2日踊りたいと言っても、受け入れることはできない。1日で終わる連もあれば、2日踊る連もある。そういった参加費のおかげで運営できており、高円寺の周囲の住民も踊り連が参加費を支払って行い、税金を使わないのであればいいと思っていると思う。高円寺の振興協会の連も参加費は支払っている。ただ、前夜祭や秋の踊りもあり、そこでは出演料をもらっているため出演料で参加費は相殺されている。

30年という節目の中で阿波おどりを後世に残すためにはどうするのか。そのためには、問題になっているお金の問題も含めて、見せる踊りから体験の踊りに、来ていただいた方に体験していただくという形が変わっていると思う。変わらなければ、阿波おどりは衰退すると思う。今後は、踊り連も参加費を出して、赤字が無くなるまで頑張ろうと。1,400万円も連に払っており、それを相殺すれば、400万円の赤字で済んでいるのではないか。400万円の赤字は15日が雨だったのと、阿波おどりイコール総おどりであるという誤解があったためだと思うので、振興協会がするのであれば、阿波おどり振興協会14連による総おどりという名称に変えていただいた

ら、振興協会が総おどりを行っても理解が得られると思う。

【豊永委員長】

出演料の大きい内訳として、有料演舞場、選抜・前夜祭という分類になっている。ここに出演料を支払っているが、選抜と前夜祭は有名連だけが踊るということで興行的に質がかなり高い。あと有料演舞場については、にわか連もそうだが、企業連や大学連やそれ以外の一般の団体もあり、そういった連にも参加費を負担いただくのかという問題が一つ出てくる。

それと、出演料の支出を全廃していいのかということであるが、支出の中で選抜や前夜祭も支払わなくてよいのかという問題がある。

【清水委員】

学生は働いていないし年配の方からはもらにくいこともあり、常識的な範囲で除外するのがいいのではないか。前夜祭や選抜は明らかに興行である。興行主を探し、その人たちに運営をしていただき、収支決算を出してもらえば、阿波おどりととは別に運営することも考えられる。

【岡本委員】

前夜祭と選抜の収支はどうなっているのか。阿波おどり事業の収支に含まれているのか。

【事務局】

前夜祭と選抜の収支については資料1に記載している。

【岡本委員】

興行的な要素の強い前夜祭と選抜の収入が大きいのであれば、これを4日間の阿波おどり事業に組み込まないと、今後、例えば民間に委託したとき、そこが要は稼ぎ頭になるので、ここだけにイベンターが入る可能性がある。

4日間の阿波おどりは、あまり利益がないとなると、結局は行政でお願いしなくても困る。冷静に分析したうえで話になるが、やはり民間委託するときこの部分をぶら下げておかないと事業コンペの応募が無いとも困るので、そこは検討する必要があると思う。

【福山委員】

民間委託を前提にするのであれば、有料演舞場4箇所の収支をある程度個別に出し、共通費に関しては案分して提示しなければ、事業者は入りづらいと思う。

【豊永委員長】

民間委託をする際にどのような資料を揃えてあげて、それをするためには、どうすればいいかは後に議論をするように考えている。

【豊永委員長】

参加費を連から取るのか、出演料を出さないのか、出さないとすればどの部分を出さないのか、参加費を取るのであれば、どういった連から取るのかに絞って議論いた

だきたい。

【清水委員】

基本的に踊り手側も参加費を出すべきだと思う。

【豊永委員長】

前夜祭や選抜に出演料を出さないとすれば、出演しない連も出てくるのではないか。

【岡本委員】

出演料をもらえなければ、やめる連が出てくるのは仕方ないのではないか。今年の前夜祭は振興協会の枠をえびす連とうずき連が埋めた。ショーとしては埋まるわけである。前夜祭も含めたトータルの参加費として納めてもらい、納めていただいたら選抜も前夜祭も出演できるという方がいいと思う。このことには連から苦情を言われるかもしれないが、今回は赤字なので変えざるを得ない。

【福山委員】

阿波おどりが潰れるか、変えるかである。

【岡本委員】

今回の阿波おどりの赤字の問題もそうであるが、これは皆様そうじゃないと思うかもしれないが、一般的には騒動があったから赤字になったと思っている方が多いが、根本原因はチケット販売に一本足打法で寄りかかり、ほとんどが興行的な要素が強いところである。要は報道の仕方や、一部団体の動きで祭が左右されることが構造的な問題である。ここを何とかしなければ、仮にそういったことがあったとしても、祭りが維持できる仕組みにしなければ厳しいと思う。参加費を取ることが無理でも出演料はゼロにすべきだと思う。祭りに協力してもらうことは、参加費支払って、その代わり運営にもタッチできる。各連のプライドをどう満たすか、自分たちが阿波おどりを背負っているという流れが必要だと思う。

【豊永委員長】

出演料をゼロにすると、困る連はあるのか。

【清水委員】

連の中にはあるかもしれない。自分の連員には言っているが、お盆4日間遊びに行ってもお金はいる。それで、4000円の会費を出して楽しめたら、自分の好きなことができるのならいいというのが自分の考え方である。出演料で動く、動かないっていうのは明らかに興行という意識が芽生えてしまっている。阿波おどりをこよなく愛して、郷土のために踊るではなく、自分たちは魅せている、魅せてやってる、そういった意識ではいけないと思う。自分たちはいつも参加費を出させていただき踊らせていただくと。赤字であるのであれば、今まで少なくともずっと市の税金を使っていたわけであり、少しでも返すと、そうすれば、市民も踊り子がそこまで頑張っているのであれば仕方ないと思ってくれるのではないか。

【豊永委員長】

阿波おどりに全体で800連ほど出ていたのか。

【事務局】

4日間延べになる。

【清水委員】

各連から参加費は取りにくいかもしれないが、障害者の方がいる連などは別として参加費をいただく。名目は協力金でもいい。そのような形で出していただくということを実行委員会に提言したいと思う。

【豊永委員長】

にわか連の支出については、にわか連の指導してくれている連に支払っているのか。

【事務局】

そうである。にわか連は、市役所前と元町演舞場2カ所がある。参加型のイベントであり、当日参加者を募り踊っていただく。踊り方もわからない、鳴り物もないため、有名連の方に踊りを教えていただき、踊り込む時も鳴り物も鳴らしていただくようになっている。

【豊永委員長】

体験型で、踊りを教えているのにお金をいただくのはどうか。

【岡本委員】

にわか連の指導をしている連には日当がいると思う。

【竹中委員】

そういった連からも参加費を取るのでは違和感がある。

【岡本委員】

各連は、駅前、空港の出迎えなど、街のために接待で動いている。そういった部分の支払いは必要ではないか。

【豊永委員長】

接待の関係の費用は決算見込みのどこに含まれているのか。

【事務局】

決算見込みには含まれていない。

【豊永委員長】

接待等はボランティアになるのか、もしくは出演料を支払っているから接待等を行っているということなのか。

【事務局】

経費としては含まれていない。

【清水委員】

例えば空港ならば昼間に出迎えに行き観光客を接待する。出迎えた先で釘付けになってしまうので、そういった接待の経費は空港なら空港が支払っていると思う。

【岡本委員】

行政側が依頼しているのは、にわか連だけなのか。

【事務局】

にわか連だけである。

行政といっても、私どもが把握しているのは市だけであるため、徳島県や空港でもいろいろ接待を行っていると思う。手弁当でやっているところは少ないと思うので、空港ビルや徳島県が支払っているのではないか。

【岡本委員】

徳島市としてはにわか連だけなのか。

【事務局】

にわか連を担当していただく連に依頼しているだけである。

【岡本委員】

一緒に演舞場に入っていくため、この経費は必要だと思う。

【清水委員】

ただ問題は、にわか連に行った連だけが18万円もらっているとなれば、おかしなことになるのではないか。

【岡本委員】

参加費との差し引きでいいのではないか。参加費はもらうが、依頼した部分は支払いをする。

【豊永委員長】

にわか連に対しては支払いを行う方向とする。

前夜祭と選抜についてはどうするか。

【木村委員】

旅行業界としては、県外の方にPRするときには栈敷に行くと学生などレベルの低い連がいるが、前夜祭や選抜は有名連だけでレベルの高い踊り子が出演し、安心して見れるというのはPRになる。出演料が必要になるのかわからないが、一定のレベルのものは残すべきであると思う。

【清水委員】

東京の高円寺に呼ばれたとき、基本的に自分たちは参加費を出さなくてもよく招待ということになっていたが、NPO法人が運営しており、地元の連は協力金として1口1万5千円を支払い踊っている。だから自分達も1万5千円をだして踊らせていただいているという気持ちで東京に行っている。徳島の阿波おどりは赤字を抱えているので、尚更1万5千円でも2万円でも出すべきで、赤字解消に取り組まないといけないと思う。

【豊永委員長】

出演料を出さないが、参加費もいただかないという考え方もある。

【清水委員】

出演料を出さなければ、その分の1400万円は黒字になっていく。ただ出演料をもらっていた二つの協会からは苦情が出てくるかもしれない。

【豊永委員長】

検証委員会は、抜本的なことを提言すればいい。実行するかどうかは阿波おどり実行委員会が決定するようになる。

【岡本委員】

赤字の解消のために出演料を出さないのではなく、祭りの在り方として出さないという風にしなければ、必ず勘違いした批判が出てくると思う。

【豊永委員長】

祭りの在り方として、黒字が出てれば抜本的に変える必要はないが、有識者会議では赤字を踏まえて、継続的に実施ができるようあるべき阿波おどりの姿にする、そういった諮問を与えられている。そういった観点から赤字を前提に応分負担をどこに求めるのかというところで、全国に例をみない形で踊り連に出演料を出しているのはいかなものか。それを補填するのに市民の税金を使っていいのか。それは参加している連に応分の負担をしていただくのが、本来の筋ではないかと思う。ただ躊躇するのが、出演料をゼロにして参加してくれる人がいるのかという一抹の不安があり、それで参加者がいなくなれば、止めざるを得ない。

【清水委員】

これからは少子化が進んでいき、どこかで考えていく必要はあった。参加費をいただくのはいい意見だと思う。

【豊永委員長】

選抜も前夜祭も出演料を出さないということでもよろしいか。にわか連の指導についてはどうするか、出演料も出さないという方法もあるが、ちょっと負担になる気がする。踊りを踊るのと人に教えるのでは違うが出さないという点ではどう考えるか。

【清水委員】

実行委員会で検証するので、意見は意見として出した方が良いと思う。

【豊永委員長】

検証委員会として選抜、前夜祭を含め出演料を出さない、にわか連の指導料については従前通り支払うということでもよろしいか。

【竹中委員】

例えば、企業連のようなものがたくさんあり、参加費を取ろうと思えば取れるわけで、参加費は取るべきだと思うが、絶対に出演してほしい連については参加費を取る代わりに、戻してあげるのもいいのではないか。

【岡本委員】

どういった形で戻すのか。

【竹中委員】

例えば並べて5万円参加費をいただくが、絶対出演してほしい連にはその参加費を戻すのでもいいと思う。

【岡本委員】

企業連に対しても参加費を戻すのか。

【竹中委員】

参加費を企業連に戻すことはないが、有名連に対しては戻してもいいと思う。

【岡本委員】

参加費を戻す連の線引きを誰が行うかという問題がある。

【豊永委員長】

出演料は出さないが、出ていただける連に出ていただくというのが私を含める3人の考えであり、出演料がもらえないのであれば出演しないというのは、各連の判断になる。有名連が1連も出ないのであれば、それはやめないと仕方ない。

【清水委員】

選抜阿波おどり、前夜祭のために必ず練習に行っていると思うが、その時の駐車場等の経費は実行委員会が負担しているのか。

【事務局】

駐車場については確認を行うが、室料は払っている。

【清水委員】

かなりの方が複数回練習に行っていると思うが、そのことに対してお金を支払っていることがあるのか。

【事務局】

練習に対してお金を支払っていることはないが、その他経費については確認を行う。

【清水委員】

踊る立場からすると、食事なども必要になると思うので、最低の経費は支払ってあげないと、練習もやっているのにお金を支払わないのは不都合が出てこないかと思う。

【岡本委員】

出演料は支払わないが、駐車料金、食事などを含めた経費は支払うということか。

【豊永委員長】

経費を支払うのは選抜、前夜祭に限る話なのか。

【清水委員】

普段の練習については支払わないが、選抜や前夜祭などのショー的なことを行うときについては、経費は支払う方がいいのではないか。

【竹中委員】

何もかもがボランティアではなく、実費に相当する部分、特に興行的な部分は少なくとも実費は払ってあげないと続かないと思う。

【木村委員】

金額は別としてある程度の技能がある連が前夜祭、選抜に出演した時は、何かしらは出すべきだと思う。

【豊永委員長】

出演料という形ではなく実費相当分という形になる。

【福山委員】

支出を行ったら、決算書に明示するのは必須だと思う。事後検証を行い、本当に必要な支出だということで毎年検証していく。

【豊永委員長】

あくまでも、前夜祭と選抜について出演料は支払わないが、裏付けがある実費相当分については支出するという意見でまとまったということでしょうか。

今日の時点で決定ではないので反対意見を言っていたいただいてもかまわない。

【竹中委員】

今日はあえて反対意見を言っている。

【岡本委員】

影響が大きくなってることか。

【竹中委員】

そうである。

【豊永委員長】

竹中委員は反対ということか。

【竹中委員】

反対はしていない。

【豊永委員長】

検証委員会として、選抜、前夜祭、有料及び無料演舞場の出演料は支払わない。ただし選抜、前夜祭については裏付けがある実費相当分については、支払うということでしょうか。

【木村委員】

話が反れるが、選抜、前夜祭について、有名連に出演していただくのは途中から始まったと思う。選抜と前夜祭は有名連に声掛けしてチケット販売していくなど、どういう経緯で始まったのか。

【事務局】

事務局も当時の状況をわかる者がいないため、わからない。

【木村委員】

栈敷で見ると、ゆっくり良いものを見てもらいたいということで始まったんでしょうかね。

【清水委員】

たぶん、最初に始めたのは、徳島市に来ていただいた方に、徳島の魅力を発信した

いということで選抜や前夜祭を考えられたと思う。ただ問題は、それがいつの間にか興行的な形に変わっていったことである。

一番肝心なのは、阿波おどりに対する意識改革であり、絶対すべきだと思う。出演料を下げただけでは、何年か後にまた同じようなことが繰り返されると思うので、今年ベースを作り、悪い方向にいかないようにしていただきたい。

【豊永委員長】

次の問題として、踊り連から参加費を貰うかどうかだが、応分の負担ということで参加費を貰うとすれば、企業連、有名連、大学連などで区別をするのかどうか。有名連と企業連とそれら以外で分けてもいいと思うが、どうか。

【木村委員】

有料演舞場に踊り込むには協力金として、金額は今明示できないが、一律でいいと思う。一部学生連やハンデキャップを持っている団体については明記して分ければいいと思う。

【岡本委員】

金額の大小は最終的に実行委員会で決定してもらおうとして、他の祭りはみんな協力しているのに、阿波おどりだけまったく協力しないのは良くないと思う。金額は5000円でも10000円でもいいと思うが、協力金という形でいただくのが良いのではないか。

【豊永委員長】

協力金をいただかないという区別を一部例外として作るということでいいか。

【岡本委員】

協力金をいただかないように区別するのは必要だと思う。

【清水委員】

他の祭りの資料を見ても、入場料についても、障害者の方については安く設定しているので、当然演舞場で踊ることに対しても、協力金等は除外してあげるのでもいいのではないか。

【豊永委員長】

企業連、有名連からは協力金はいただくということでいいか。

【木村委員】

地域のお祭りなので、協力し合って一つのものを作っていき、まずそこが原則だと思う。

【豊永委員長】

地域の祭りが赤字で、経済的苦境にあるため参加する人で応分の負担をする。そこが原則だと思う。だから参加する企業連、有名連にも負担いただく。

【福山委員】

選抜や前夜祭は関係ないという理解でいいか。

【豊永委員長】

関係ない。有料演舞場についてである。無料演舞場はどうするかはある。

【福山委員】

有料演舞場で頑張れば、前夜祭に出演できるという考え方でいいのか。ちなみに選抜阿波おどりは人気投票などを行っているのか。

【岡本委員】

選抜阿波おどりの出演連は協会内で決めていたと思う。

【事務局】

選抜阿波おどりはあわぎんホールで開催しており、振興協会、徳島県阿波踊り協会（以下、「県協」という。）、うずき連、えびす連に出演依頼している。

【岡本委員】

選抜阿波おどりは全部の連が踊れるわけではなく協会の中でランキングがあって、ランキング上位の連だけ踊れる。

【清水委員】

明らかに興行だと思ったのは、例えば県協会は選抜のために審査をするらしい。そこで振るいにかけている。県協のローカルな連が選抜に出演して、市内の有名連が落ちていることが現実にある。

【木村委員】

県協に所属していれば、ローカルな連が選抜に出演できることがあるのか。

【清水委員】

市内の有名連が選抜に出演できないことが今もあると思う。振興協会については市内しか連がないので、その中から決めていくと聞いている。

【事務局】

県協の方でも、3回踊る連や2回踊る連など、ランク付けをして審査をされていると思う。

【清水委員】

振興協会はAからCランクという風なものを付けているようである。一般からすると有名連である以上AもBもCもない認識でいる。そういったことが客の耳に入るとAを見てBやCを見るのを止めようということになりかねない。

【豊永委員長】

無料演舞場についても出演料は支払っていたのか。

【事務局】

無料演舞場についても、18時と21時の2回の張り付けだけには1回2万円や、新町橋演舞場は21時40分と22時10分の張り付けには1万円を支払っている。

【豊永委員長】

無料演舞場についても出演料を出さないということによいのか。

【岡本委員】

有料、無料演舞場の区別なく出演料は支払わない。

【豊永委員長】

参加費については、有料演舞場だけ取るのか。無料演舞場はどうするのか。

【岡本委員】

有料、無料演舞場の区別なくトータル参加費をいただく。各連が有料、無料の区別なく各演舞場を回っていただく前提で、それを含めた参加費ということで、演舞場ごとではない。

【豊永委員長】

選抜と前夜祭についての参加費はどうするか。

【岡本委員】

これはいただく訳には行かない。

【福山委員】

参加費がいるところといらないうところで分けると、一方で踊るのにはお金が必要なのに、もう一方ではお金は払わなくても踊れるという話も出てくる。

【岡本委員】

全体を1つの事業として参加費はいくら必要という形にしないといけないのでは。

【豊永委員長】

選抜に出られない連がこっちだけ参加費を払うのはどうかとは思う。

【岡本委員】

それは金額の大小によるのではないか。

【豊永委員長】

踊るところが少なくなるから、協力費も少なくなるという考え方で解決できるということか。

【岡本委員】

そういった考え方でもいいと思うが、その取り扱いはややこしい。

【清水委員】

出演料を1回9万円や2回目は14万円、20万円と支払っており、もしかしたら、これを予算化している有名連もあると思う。

【木村委員】

その出演料を普段の練習などの運営に使っているとか。

【福山委員】

備品の購入をしているわけですね。

【岡本委員】

最初に立ち返ったら、他の祭りでは出演料を出してない。自分たちでやりくりをしている。

【豊永委員長】

見る人はチケット代を払い、参加する連もそれなりの負担をしている。

【岡本委員】

祭りをみんなで支えるっていうことが大前提。

【豊永委員長】

興行的に商売として阿波おどりをやりたいのであれば、別の日に有料で開催していただいたらいいと思う。全員でやる阿波おどりについては、参加する連が出演料を貰って、観客がチケット代を払うだけっていうのは応分負担としてどうなのかということが、先ほどの議論の経緯である。検証委員としては運営協力費という言い方でいいと思うが、区別していただく。選抜、前夜祭については、参加する、しないところで対応を変えろという方法があるのではないかと。協力費の金額については、実行委員会、運営協議会でお決めいただく。有識者会議としては出演連に対し、出演料を出さないが協力金は貰うということで一致したということによろしいか。

(異議なし)

岡本委員から開催日について、日曜日の方が客の入りが多いので、木金土日に開催したらどうかと提案があったが、お盆の間はだいたい休みをとって帰って来ていると思う。木金土日でいいのかという問題もあるが、来年の開催に間に合うのかという話もある。

【清水委員】

観光客に来ていただく点で言うと、木金土日が一番いいと思う。踊り子も休みが取れない人も沢山いる。観光客も木曜日に来てその日に帰る人もいれば、土曜日、日曜日まで来たいという人もいる。観光客の立場から考えると、開催日についても一考すべきと思う。

【岡本委員】

もともとは曜日開催だったのが日付固定開催になったのは、いつからか。記録として残っていないのか。たぶん、昭和40年前後だろうとイメージしているが。

【竹中委員】

昔も日付固定開催で、開催日が違ったのではないかと。もっと早い日付だったと思う。

【豊永委員長】

県内の阿波おどりは鳴門が先行して開催しており、その調整も必要である。既に例年の開催日を前提として動いているところもあると思う。将来の検討事項としてはいいと思うが、来年については難しいのではないかと。

【清水委員】

徳島市の阿波おどりは日にちが毎年違うのでPRしにくいということを聞いたことがある。そういうことから固定日にするのであれば、天気を何十年前まで遡って調べてみたら、現在の開催日の天候が良かったとのことである。踊る側からしても曜日を固定していただいた方がやりやすい。東京の高円寺も最終の土日と決まっている。土、

日が入るとお客さんの入りは多い。

【豊永委員長】

曜日固定にすると第3週になるのか。

【岡本委員】

第3で提案している。鳴門は第2金土日徳島の阿波おどりは第3の木金土日。

【豊永委員長】

岡本委員の意見には長期的な視野では賛成であるが、運営協議会の議事録でも来年の予定を組んでいるところもあり、来年からは難しいのではないか。来年度については従前通りとして、次年度以降、開催日をいつにするかを含めて周知期間が必要である。12日から15日という予定で企業も毎年動いているため、周知期間は最低でも1年は必要。土日を含めるとチケットの売上に寄与することは間違いないし、踊り手も仕事の休みが取りやすい。将来的に第3木金土日に開催すべきであるということが良いか。

【竹中委員】

第3週では遅すぎるのではないか。例えば、19日から21日になる場合もある。

【豊永委員長】

少しトーンダウンして、木金土日の開催を将来的に検討してはどうですかという提言にしましょうか。すべきであるとまで提言すると、与える影響が大きくなり検証委員会だけで判断するのは難しい。来年度については既に予定を組んで動いており、来年や再来年も予定が埋まっているかもしれない。2年後3年後と言わずに将来的に検討すべきであるという提言でよろしいか。

(異議なし)

昨年までは徳島市観光協会が運営していたが、今年は徳島市長を委員長とする実行委員会があり、さらに運営協議会がある。将来的には民間委託ですかね、指定管理などがあるが、どういう方式なるかは別として、そういう方向が望ましいと思うがどうか。

【福山委員】

同意見である。

【竹中委員】

民間委託がいいかわからないが、行政が中心になって運営するのは止めた方がいい。

【豊永委員長】

指定管理にするのか、純然たる民間でするのか、これも将来的な提言になる。

【竹中委員】

体制の問題よりも実際どう運営するかが大事だと思う。今の体制で実行委員会が8団体、運営協議会が24団体で実質的に協議できるかということと絶対できない。実質的には事務局が出したことに対して質問はあったとしても自分の意見を反映できるよう

な体制にないと思う。

【豊永委員長】

竹中委員は運営体制として、どのような体制が望ましいと思うか。

【竹中委員】

市が運営するにしても民間が運営するにしても、どんな形であれ責任を持てる体制が必要だと思う。

そのためには、大きな委員会1つではなくて、例えば、警備について話し合うなら7人から10人くらいの委員会をつくる。2部制などの興行についても7人から10人の委員会を作る。それぞれが責任を持ち、自主的な議論ができるような組織を作っていかなければ、うまくいかないと思う。

【清水委員】

実行委員会のメンバーの中に弁護士や公認会計士を入れるべきと思う。そうすれば、指摘してくれ、検証してくれる。

【豊永委員長】

運営団体の中に弁護士や公認会計士を入れるということか。

【清水委員】

実行委員会に入っただき、決定したことを検証してもらえばいいと思う。出来上がっているものを見てもらっても仕方ない。プラス現場で分かる人にも入っただく。今までのような形だけでなく、実務に精通している人に入っただくのが1番ではないか。

【岡本委員】

現在の実行委員会では、責任の取りようがない。責任を取らなくていいということではなく、構成している商工会議所や青年会議所の方が赤字の責任を被り、関係団体や個人からお金を集めるわけにはいかない。全体の事業収支について、責任を負う事業体を選ぶべきだと思う。行政は補助金を出しているため最終的には、その責任を負わないようにしなければ、観光協会と同じになってしまう。寄合所帯で運営はするが収支の責任は持たない。行政が税金で払えばいいという体制は絶対にやめないといけない。運営事業体が収支に関して責任を持つ、インセンティブで利益を上げれば、そのまま収益として取り込める。ただ、一定金額だけは基金に積むなど、徳島市の観光整備に充てるなどの条件をつけた上で、儲かる事業としてやるというにはありだと思う。100万人集まるイベントで、普通にやれば収益は絶対あがると思う。東京の友人とかに聞いてもきれいに整備した上でやれば、絶対乗ってくる企業はあるという声が多かった。

【豊永委員長】

将来的という話だが、来年度としてはどのような体制が望ましいのか。

【岡本委員】

今は阿波おどり事業の決定機関は実行委員会である。実行委員会が仮に提示した案を認めてもどう動くのか。ということと事業コンペするにも時間的に厳しいところがあるので、一番いいのは再来年に向けての事業コンペを実施し、来年は今の体制のまままで一旦進めるしかないと思う。

【福山委員】

来年1年かけて準備をする。時間をかけて、委託の準備をするのがいいと思う。

【豊永委員長】

今年についても委託業務を入札にしようとしたところ、仕様書がないため業務にいくらかかるか評価できないということで止む無く随意契約にしたという背景があった。あれだけ観光協会に対し、ガバナンスがないなどと第三者委員会が指摘したが、今年どうだったかといえば、昨年と同じであった。そこをどう変えるのか、事業コンペを行う場合に資料としてこの決算書だけでいいのか、どういった資料が必要になるのかという話がある。

仕様書を作成しようとする、費用は結構かかるのか。

【竹中委員】

仕様書を作るのはかなり大変である。それ以前に阿波おどりをどのようにしていくのかが決まらなないと仕様書が作れないと思う。単に4日間の運営をすればいいということではなく、全てをひっくるめ阿波おどりの価値を上げていくようにしなければ、4日間だけの運営をするのではいけないと思う。

【豊永委員長】

将来的には、民間が運営を行い、行政は補助金を出すという形がいいと思う。そのことについては、意見は一致していると思うが、それをどのようにやっていくのか。事業を受けた団体が民間であればきちんと運営はできるだろうし、補助金を出しているのであれば決算報告書も提出もされるので、ある程度透明化できると思う。

【竹中委員】

民間だったらという意味ではなく、運営体制の仕組みを作る必要がある。観光協会も民間といえば民間である。

【岡本委員】

仕様書は、アウトラインではないのか。それは、コンペに応募する団体が決めることであって、行政がコンペにかけるときに、最低ここだけは守りなさいとすれば、後は応募者の裁量ではないのか。

【竹中委員】

どこまでを任すかというのもあると思う。

【岡本委員】

現状、行っていることは最低限してもらわないといけない。そこについて資料は出せると思うが。

【豊永委員長】

今年度は短期間ということもあり委託ができなかったが、事業コンペを行う上で個々の業務も含めてどのような資料、仕様書が必要なのか。

【岡本委員】

仕様書を作ってもらえる業者はある。地域おこしやイベントを受けている業者に1年間、準備期間として入ってもらえれば、仕様書を作ってくれる。実行委員会として、こういう風に祭りをもって行ってほしいと大筋を決めた上で細かい部分は、業者にお願いして作ってもらわないと仕方ない。市役所の方が作るのは無理だと思う。

【豊永委員長】

事業コンペをするための資料作りという形で来年度業者が入り、阿波おどりを見ていただき、見積りをとっていただく。

【清水委員】

阿波おどりで地方に行くことがあるが、行政がもちろんバックアップはしているが、業者が入って運営している場合が多い。

【豊永委員長】

事務局に調査していただくのは、そういったイベントを受けていただける事業者が実際あるのか。どういった事業者がどういった事業をしているのか資料を作ってください、それを踏まえて、実行委員会に来年度を試行期間として、再来年度に向けて民間委託という方向で提言する形にした方がいいのですかね。

【木村委員】

よさこいソーランは大手の業者だったと思う。

【豊永委員長】

業者さんに入っていたら、こういう資料が足りないとなれば、実行委員会に協力して出していただき、仮の決算が出た時にはこういう費用が必要かというものを
出していただく。

【岡本委員】

仮に調査に入った業者が事業コンペに応募するのは問題がある。自分たちで都合のいいように仕様書が作れるため、その仕切りは別にして独立性を確保する。

【豊永委員長】

仕様書を作成した事業コンペには参加できないとして、事業期間は何年か。

【岡本委員】

通常は3年から5年。とりあえずは3年でいくべき、いきなり5年するのはリスクが大きい。

【清水委員】

埼玉県庁の人から、意見をいただいたことがある。一つのイベントを開催するのに、土台作りに3、4年もかかる。そのために、業者を個別に呼んでノウハウをいただき土

台作りをしていく。1年や2年ではできない。今年をたたき台の年にして、来年また実行委員会で運営していただき、次からは新しいシステムに変えていく。そのためには、ノウハウを教えてください。

もう一つは、しっかりとした監督が必要である。この有識者会議では皆さんが意見をバンバン出してくれる。皆さんのように意見をできる人を実行委員会のメンバーに入れていただく。意見が言える人が必要だと思う。

【豊永委員長】

実行委員会は、結構意見を言っていると思うが。

【竹中委員】

こういった組織は言いつばなしで終わってしまう。

【岡本委員】

運営協議会の委員から実行委員会のメンバーを変更するように迫ったとあるが、迫っただけで、どうあるべきかという意見は出なかったのか。

【事務局】

運営協議会は実行委員会に対する諮問機関という位置づけであり、意見をいただいたということになる。

【岡本委員】

ということは言いつばなしということになるのではないか。

【事務局】

諮問機関なので、そういうことになる。

【豊永委員長】

来年度にだが、業者調査に入ってください方向で。あと、随意契約を入札にするのは難しいのか。

【事務局】

様々な業務で仕様書がなかった。仕様書の作成方法についても、色々検討しており、仕様書の作成をコンサルタント会社に依頼するという事もできるが、かなり経費面で高額となることから今年は断念している。

【豊永委員長】

どれくらいの費用になるのか。

【事務局】

全ての仕様書を作ろうとすると、業者に伺ったところ2,000万円ぐらいかかる。

【豊永委員長】

コンサルを入れて、再来年度に向けて張り付けてもらい仕様書を作成していただくと、それくらいの費用になるのか。

【岡本委員】

大手の代理店に入ってもらったら、2,000万円、3,000万円は絶対にかかる

る。その費用を今後のために必要なものとして考えるかどうか。

【豊永委員長】

仕様書を作成するだけだと無駄ではないのか。民間委託するときには、仕様書が必要なのか、大雑把なものでいいのか、その辺は事務局の方で何が 필요한のか、調査していただきたい。仕様書を作成した事業者は事業コンペに参加しないが、一時的に費用をかけるのも止むを得ないと思う。市が高すぎるというのか、将来の投資だから止むを得ないというのかわからないが、再来年に民間委託するのであれば、市が運営するのは1年で終わる。根本的、抜本的改革をするのに必要な費用であり、負担いただけるかどうかを市民に理解していただけるかどうか。事業コンペをするためにどの程度の費用が必要かも合わせてやっていただく。

【岡本委員】

事業コンペの計画書を作るコンペをやるということですよ。

【豊永委員長】

コンペをするためのコンペ、計画を作成するためのコンペという形で良いか。

【岡本委員】

コンペで選ばれた業者が1年間張りつき、今後の民間委託に向けての仕様書、フォーマットを作ってもらおう。

【豊永委員長】

民間委託した場合は、選ばれた事業者が中心となって運営を行う。運営体制についての議論はどうするか。

【岡本委員】

選んだ事業体の事前審査と監視と結果に対しての検証の仕組みを作っておけば問題ないと思う。

【豊永委員長】

事業コンペをする際の客観性、透明性が確保できる。いずれにしても補助金は出していただけないと思うので、事業コンペを行う方向性とする。

来年の運営体制をどうするか、事業者に張りつていただくにしても我々は運営協議会、実行委員会にどういうことを申し上げることができるのか。これは次回の議論にするか。

【清水委員】

今年1年間は実行委員会に運営していただいたので、再来年に向けての土台作りということであれば、来年も引き続いて徳島市にお願いしたい。踊り子も実行委員会が決めたことを守ることが前提で運営していただかないと仕方ないと思う。

【岡本委員】

時間的に無理である。体制は現状のままで、出演料の見直しや参加費とかそこは急いでやってもらう。

【清水委員】

実行委員会の立ち上げを年明け早々にしていただきたい。報道関係の方にも PR をお願いしたい。阿波おどりは開催するということで、誤解を招くような報道をされては困る。総おどりイコール阿波おどりと誤解されたことがあった。

【豊永委員長】

総おどりイコール阿波おどりについては、実行委員会の中でもかなり意見が出ており、それはあったと思う。

【清水委員】

総おどりを行うのであれば、総おどりっていう名称の頭に冠を付けて、例えば阿波おどり振興協会などを付ければ、誤解を招かないと思う。

【豊永委員長】

総おどりについて意見を申し上げるかどうかはどうするか。

【清水委員】

今年は阿波おどりのイメージが悪くなったが、逆に阿波おどりを知らない人まで知ってくれた。新たにスタートするにはいいのではないか。そのためには、総おどりという名前を変えてもらうことをお願いしたい。総おどりは16年前ぐらいからそのような名目できたと思う。眉山という映画で総おどりっていう名前が付けられた。それから使われているのではないかと思う。

【岡本委員】

昔は振興協会合同おどりであった。当時は演舞場自体の人气が無く、南内町で無料開放していたので見に行ったこともある。ただ、それを努力してそこまでのものを作り上げられたので、これだけ名前が売れている総おどりをしてもらうのも良いのではないか。

【清水委員】

一案として、市役所前演舞場のチケットの売上が悪いのであれば、総おどりの名称の頭に冠を付けていただき、1日目は市役所、2日は紺屋町、3日目は藍場浜で最後は南内町で締めてもらうのはどうか。

【豊永委員】

総おどりの前提として、実行委員会と振興協会でも話し合いができていない。話し合いをしてもらわないと仕方がないのではないか。

【岡本委員】

実行委員会として、総おどりにはどういったデメリットがあったため、新しいフィナーレを行うこととなったのか。実行委員会の中ではどのような認識だったのか。

【事務局】

市役所前演舞場のチケット販売率が悪く、一方で南内町は非常に良いという現状であった。チケット販売率の全体的な底上げを考えた時に、いつもであれば最後の2連、

3連は有名連が踊っていたが、10時以降の演出に有名連ばかりを張り付けようと。それから、振興協会の連は10時以降に南内町に全て集まりますが、振興協会の連を見たい場合は南内町に行かなければ見られない。そういったことを考えると振興協会の連にもすべての演舞場に入っていた方が満席になるのではないかと考えた。

【岡本委員】

同じ料金のチケットを買って、総おどりを知っている人は見られるが、初めて来る人や知らない人は見られない。演舞場の構成として中身に差が出るのは不公平だということがあるんですかね。振興協会所属の連は総おどりの準備のために第二部の最初を踊った後は南内町に集結するため、余計にほかの演舞場がガラガラになる。運営協議会の意見で市役所前の二部で総おどりを行えばいいという意見があったが、本質的な解決に繋がらない。市役所前に行ったとしても他の演舞場はスカスカになる。たくさんのお客を呼べるので総おどりは総おどりでやってもらえばいいと思う。

報道では伝わらないことで、これは振興協会を批判するつもりはないが、今回、両国の踊りロードを使って総おどりをされた。高円寺や南越谷では基本的に演舞場以外の踊りは禁止であり、流し踊りをするところしか交通封鎖をしてない。徳島みたいに演舞場と演舞場の間全て交通規制して自由に踊れるスペースがない。交通規制をするために、県警は協力してくれるが、規制した中のエリアの警備は実行委員会が予算付けて警備費用がかかっている。振興協会は反実行委員会と言いながら、彼らは実行委員会が作った舞台で総おどりを行った。振興協会の幹部がどういった立場の方か知らないが、振興協会幹部の方は市役所の職員であると聞いた。市役所の人間が、行政が決定した内容を破り税金でお膳立てされた舞台を好きに使い、お金をもらって自分たちの好きなように踊っていることを、税金を払っている市民は納得するのか。報道機関の方は背景や根本的なことは伝えてくれないので、はやし立てるだけはやし立てるのは良くないと思う。阿波おどりも含めて地域の問題を掘り下げて報道してくれなければ、被害を被るのは地域住民になる。

【豊永委員長】

今のは岡本委員の個人的なメディアに対する要望であり、検証委員会の総意ではない。人出の推計方法について、事務局でいろいろ調べていただいたら、他の祭りも前年度と比較のような方法をとっている。人出の客観的なデータも必要かもしれないが、事務局で調べてもらったところ、業務委託すると費用がかかるらしい。

【事務局】

今年の2月にあったLEDアートフェスティバルにおいて、徳島市が経済波及効果も合わせて業務委託しているが、金額として百数十万円になる。

【豊永委員長】

従前通りの推計方法ではいい加減だと思ったが、他の祭りもみんな去年と比べて推計しているようなので、推計は従来通りでいいと思う。

【岡本委員】

将来民間が運営事業体を行えば、マーケティングとして推計も行うと思う。

【豊永委員長】

来年、費用をかけてまではしなくてもいいと思うがどうか。

【竹中委員】

お金をかけてまでやる必要はないのかと思う。

【清水委員】

絶対言えることは、来年はお客様は帰ってきてくれる。

【岡本委員】

来年も再来年も平日が3日間あるので気になるところである。

【豊永委員長】

天候の関係は実行委員会でも出ているが、総おどり中止イコール阿波おどり中止という問い合わせがあったことが大きく影響しているのは間違いないと思う。

【清水委員】

事務局から振興協会に対して通知を送ったようであるが、向こうも協議するのを待っていると思う。仲裁に入る方がいいが、お互いが話し合いを持っていると思う。

【豊永委員長】

、振興協会と協議をしても、実行委員会に入るかどうかもかわからないのではないか。

【岡本委員】

もともとは運営協議会に入る予定でなかったのではないか。

【事務局】

4月の早い段階でお声がけはしていたが、その時は観光協会が破産の裁判中ということもあり、運営協議会には入りにくかったところもあると思う。

【豊永委員長】

振興協会の意向は聞いているのか。

【事務局】

4月の時点で、振興協会から観光協会の裁判中であり運営協議会への参加は遠慮すると回答いただいている。

【岡本委員】

観光協会と振興協会は本来全く関係ないはずでないのか。

【豊永委員長】

それはだぶん、振興協会は破産がひっくり返ったら観光協会が中心になって阿波おどりを運営していくことになるから、参加できないという事だと思う。しかし、裁判の結果が出ており、振興協会がそのような態度をとったからといって、今後も一切協議の申し入れをしないのはいかがなものかと思う。協議をいつ、どのような形でやる

かは別として、話し合いをして、阿波おどりの運営に入っていただくというのはどうか。

【岡本委員】

実行委員会からアプローチは一切していないのか。また、振興協会からアプローチは一切ないのか。

【事務局】

振興協会から直接、運営に入りたいなどの要望は来ていない。

【岡本委員】

会談をしたいなどの要望も来ていないのか。

【事務局】

9月28日付で実行委員会から振興協会の会長に来年以降、十分協議を行っていかなければならないと考えているという文書をお持ちさせていただいき、趣旨の説明もしている。後日、振興協会側も市と協議の場を持ちたいという意向を新聞報道等で知った状況である。

【豊永委員長】

報道で知ったということは、直接の申し入れはないということですよ。検証委員会としては、振興協会との協議の場を設けて、阿波おどりに協力をしていただける体制作りに入っていただくという提言をするのがいいと思う。

【岡本委員】

実行委員会に招くということか。

【豊永委員長】

実行委員会か運営協議会かは別として、何らかの働きかけを行い、来年の阿波おどりは協力するような方向で、こういった経緯があったにしても、実行委員会側からそういった申し入れをすべきだと思う。

今年は報道で見る限り、感情的な対立もありお互いに不信感があったようである。裁判沙汰で観光協会側とそうでない側で別れた、ある意味不幸な事態だったと思う。

来年まで時間があるので関係を修復していく働きかけをまずは実行委員会側がすべきではないかと思う。

【清水委員】

申し入れをする場合に、今回はこのような予定をしているので協力をお願いしたいということを示すのがいいと思う。ただ話し合いを持って行ったとしても、振興協会に断られるのは目に見えていると思う。

一つ残念なのは、振興協会の幹部の方が市の職員であること。民間の人であれば、話が変わってきたと思う。

【豊永委員長】

そこは幹部の方がどういう身分であれ、会社や職業とか関係ないことであり、それ

を持ち出すのは適当ではないと思う。仕事の関係でやっているのであれば、それは業務であるが、仕事でない、仕事とは別の局面で問題になっているので、職員としての指揮命令を持ち出すのは弁護士として違和感を覚える。

【岡本委員】

公金を原資としたお金を受け取っていたとしてもか。

【豊永委員長】

それは、職員とか何とかではなく、市民の判断になると思うが、弁護士とすれば、それは市の業務命令の範囲内ではない。市の業務命令の中で動いているか、動いていないか、動いていなければ全く別の判断なので、振興協会の方がどう立場であるのかというのは関係ないのかと思う。清水委員を始め踊り連の連長もいろんな方がいると思うので、その方の職業は関係ないと個人的には思う。

【岡本委員】

実行委員会、運営協議会から正式に申し入れをするということか。

【豊永委員長】

なるべく早く話し合いの機会を作るべきであるとする。

本日の会議はこれで終了とする。

